NEC Hyper Converged System
スタートアップガイド(vSAN)

2018 年 8 月
第 4.0 版
日本電気株式会社

目次

1 本ガイドについて 1
1.1 NEC Hyper Converged System 1
1.2 問題が解決しない場合のお問い合わせ先 1
2 事前準備 2
2.1 概要 2
2.2 ご用意いただくもの 3
2.3 構成品の確認 3
3 利用開始 4
3.1 本製品の設置 4
3.2 ネットワーク装置への接続 4
3.3 電源の接続 4
3.4 管理ノードの電源オン 5
3.5 Windows PC の準備 6
3.6 DNS 疎通確認 6
3.7 VMware vCenter Server への接続、ログイン 9
3.8 クラスタノードの電源オン 11
3.9 VMware vCenter Server 上での機器確認 13
3.10 隔離 IP の到達確認 14
3.11 クラスタノードのメンテナンスモード解除 18
3.12 VMware vSAN 状態の確認(健全性確認) 19
3.13 VMware ライセンス登録、サポートパック登録 21
3.14 NEC Hyper Converged System Console の動作確認 22

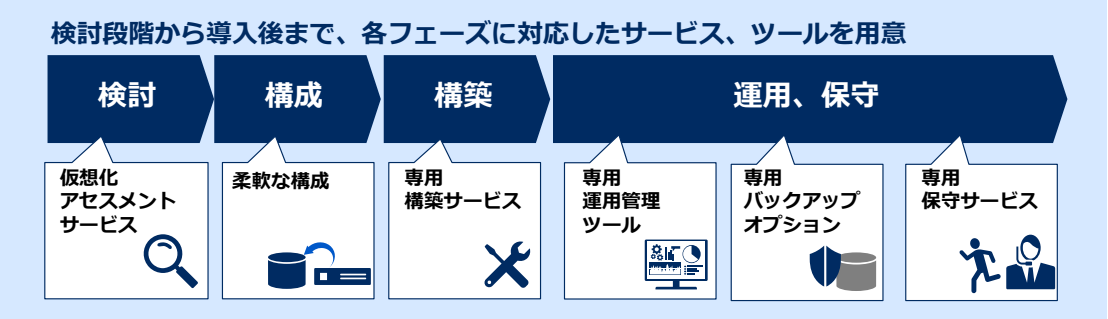
1 本ガイドについて

この度は、NEC Hyper Converged System(以下、本製品)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本製品の箱を開けてから使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業を実施してください。本書の確認事項や不明点がありましたら、1.2 節の問い合わせ窓口までご連絡ください。

1.1 NEC Hyper Converged System

NEC Hyper Converged System は、Express5800 シリーズにコンピューティング機能とストレージ機能を統合した仮想化基盤製品です。 HCI の検討から構築、移行、運用管理、データ保護、保守まで一貫したメニューを用意します。
システムのライフサイクルに合わせて最適な機能・サービスを選択できる「NEC Hyper Converged System」は、様々なユースケースで IT インフラの運用管理のシンプル化を実現します。



ご購入いただいた本製品は、VMware ESXi, vSAN, vCenter Server のインストール、セットアップ作業が完了した状態となっております。面倒なセットアップ作業を実施することなく、VMware vCenter Server を利用してすぐに仮想マシン(VM)を作成することができます。

本製品を設置し、電源を入れ、仮想化基盤として使用可能となるまでに必要な準備作業を本書にてご説明します。本書に従って準備作業を実施しても正しく動作しない場合は、お手数をおかけしますが下記までお問い合わせをお願いします。

1.2 問題が解決しない場合のお問い合わせ先

問題が解決しない場合、NEC Hyper Converged System の構築サービス窓口にお問い合わせ下さい。

〒136-8627 東京都江東区新木場 1-18-7
NEC ソリューションイノベータ本社ビル
第一 PF ソフトウェア事業部
ストレージ応用グループ
NEC Hyper Converged System 構築サービス担当

電話番号	03-5534-2351
メールアドレス	hcs-inquiry@itpf.jp.nec.com
受付時間	9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

2 事前準備

2.1 概要

NEC Hyper Converged System(以下、本製品)をご利用頂くためには、下記 14 点の実施をお願いいたします。

1. 本製品の設置
2. ネットワーク装置への接続
3. 電源の接続
4. 管理ノードの電源オン
5. Windows PC の準備
6. DNS 疎通確認
7. VMware vCenter Server への接続確認
8. クラスタノードの電源オン
9. VMware vCenter Server 上での機器確認
10. 隔離 IP の到達確認
11. クラスタノードのメンテナンスモード解除
12. VMware vSAN 状態の確認
13. VMware ライセンス登録、サポートパック登録
14. NEC Hyper Conveged System Console の確認

2.2 ご用意いただくもの

NEC Hyper Converged System(以下、本製品)をご利用いただく前に、下記 7 点のご準備をお願いいたします。本製品に同封されているものと、Web からダウンロードするものがあります。

- NEC Hyper Converged System モデル(本製品)
  - 同時購入いただいたオプション製品等
  - NEC Hyper Converged System 構成品表 (本製品に同封)
  - SG 仕様書 (本製品に同封)
  - ExpressSupportPack, PPSupportPack (パック型保守製品を購入頂いた場合。別途納品)

- ドキュメント一式
  - Express サーバベースモデルの製品マニュアル(ユーザーズガイド、Web ダウンロード)
  - 本書 (NEC Hyper Converged System スタートアップガイド、本製品に同封)

- Windows Server 2016 DVD 媒体、ライセンス
  (別売、NEC Hyper Converged System Console をご利用いただく場合に必要)

- (本書対象外、ご参考)
  - NEC Hyper Converged System Console セットアップ用 DVD 媒体、ライセンス (本製品に同封)
  - NEC Hyper Converged System Console v1.0 インストレーションガイド(1 版、個別にご提供)
  - NEC Hyper Converged System Console v1.0 ユーザーズガイド(1 版、個別にご提供)
  - NEC Hyper Converged System/運用ガイド (1 版、個別にご提供)
  - ネットワーク機器類一式 (ネットワークスイッチ、LAN ケーブルなど)
  - サーバを設置するための設備一式 (19 インチラック、商用電源など)
  - NTP サーバ、DNS サーバ (DNS サーバは、お客様の DNS サーバを使用する場合)
  - ディスプレイ、キーボード (LCD コンソールユニット等も可)
  - 下記要件を満たす Windows PC (Windows 7, 10, Windows Server 2012, 2012R2, 2016)
    https://docs.vmware.com/jp/VMware-vSphere/6.5/com.vmware.vsphere.upgrade.doc/GUID-F6D456D7-C559-439D-8F34-4FCF533B7B42.html

本製品をご利用いただく場合は DNS サーバより本製品上で動作する VMware ESXi, vSAN, vCenter Server のホスト名の正引きおよび逆引きができる必要があります。ヒアリングシートにて、お客様の DNS サーバを使用する旨をご指定いただいた場合は、本製品の電源を入れる前に、お客様の DNS サーバに SG 仕様書に記載されているホスト名、ドメインサフィックス、IP アドレスが登録されており、本製品からアクセス可能であることを必ず確認してください。

2.3 構成品の確認

本製品と、その他同時手配いただいた製品がそれぞれ別の梱包箱に納められた状態でお客様ご指定先へ送付されます。本製品が到着されましたら、「NEC Hyper Converged System 構成品表」をご参照の上、お買い求めいただいた構成品から過不足がないかご確認をお願いします。構成品表は NEC Hyper Converged System 管理ノードの梱包箱の内側に貼り付けられている、「NEC Hyper Conveged System 関係書類在中」と書かれた封筒内に納品されます。

構成品は、ケーブル・レールなどの添付品を除き、全て組み付けられた状態で出荷され、本製品の内部に組みつけられた状態となっており、分解しないと確認できない物も含まれます。

・添付品は、なくさないよう大切に保管してください。

3 利用開始

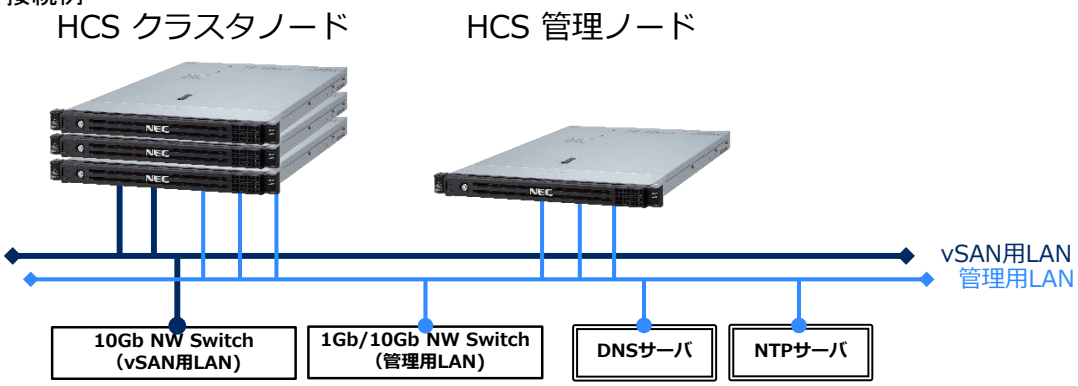
3.1 本製品の設置

- NEC Hyper Converged System(本製品)を使用する前に、19 インチラックなど安全に固定できる器具に搭載し、電源を接続する必要があります。本製品に同封されるスタートアップガイド、または NEC Web サイトから入手できる Express サーバベースモデルの製品マニュアル(ユーザーズガイド)を元に、設置を行ってください。

3.2 ネットワーク装置への接続

- NEC Hyper Converged System の電源を入れる前に、お客様にご準備頂く NTP サーバ、DNS サーバ(DNS サーバはお客様の DNS サーバを使用する場合)との接続・通信が必要になります。あらかじめネットワーク設計や設定、構築を完了いただき、SG 仕様書に記載されている「LAN ポート対応表」、「クラスタノードの設定」のアダプタ設定、「管理ノードの設定」のアダプタ設定に従ってネットワーク機器と NEC Hyper Converged System を正しく接続してください。
- 本製品をご利用いただく場合、DNS サーバより本製品上で動作する VMware ESXi, vSAN, vCenter Server のホスト名の正引きおよび逆引きができる必要があります。続く本書の 3.6 項で確認を行います。
- NEC Hyper Converged System 構築サービスは、ネットワーク設計や設定、構築、接続はサービス対象外となります。

接続例



3.3 電源の接続

- すべての製品の設置が完了後、製品に同封されるスタートアップガイド、または NEC Web サイトから入手できる Express サーバベースモデルの製品マニュアル(ユーザーズガイド)を元に、電源ケーブルを AC 電源に正しく接続して下さい。本製品の電源をオンにする前にネットワーク機器の電源をオンにしてください。

3.4 管理ノードの電源オン

《注意》

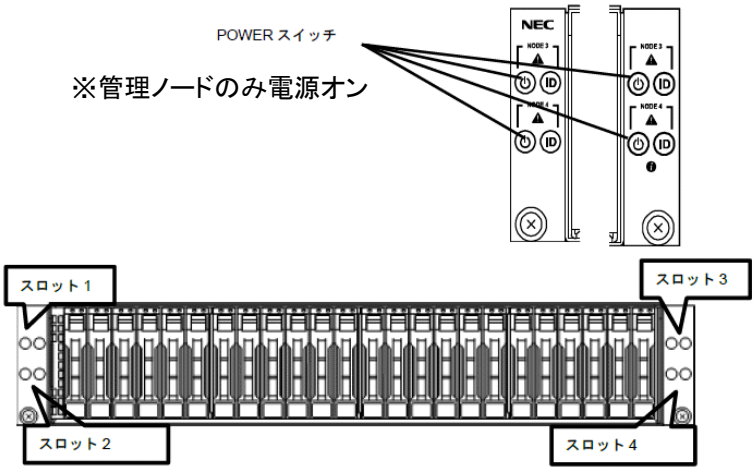
クラスタノードの電源は、DNS 疎通確認が完了するまで入れないでください。

NEC Hyper Converged System (Express サーバ)の管理ノードの電源をオンにします。DNS サーバ(お客様の DNS サーバを使用する場合)とネットワーク機器の電源オン確認後、管理ノードの電源をオンしてください。

電源をオンにする方法は、以下を参考にして下さい。

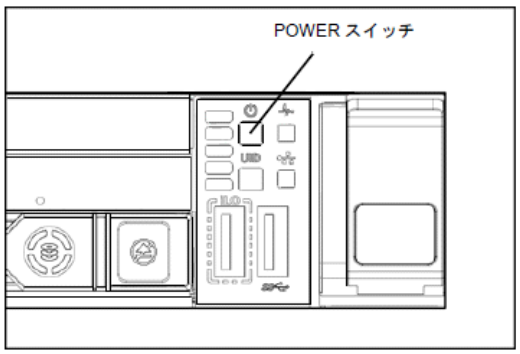
D120h の電源オン:

以下の図の管理ノードの POWER スイッチを押下して、電源オンして下さい。
正しく電源オンされると、ランプが緑色に点灯します。



R120h-1M の電源オン:

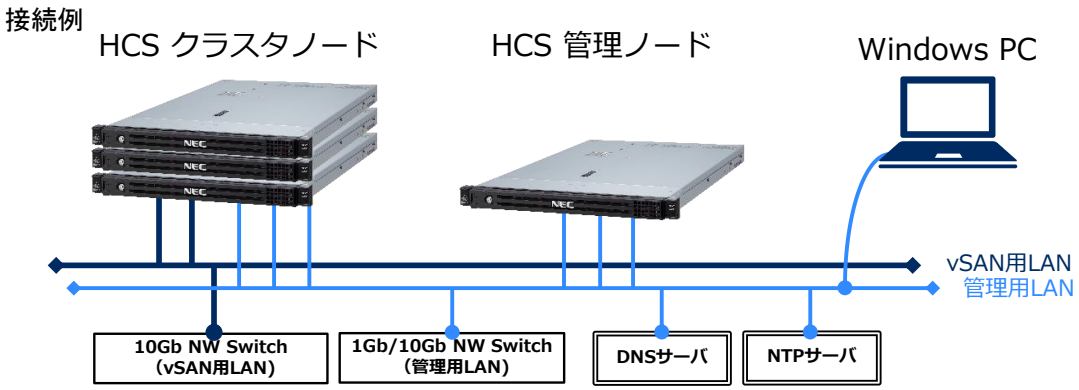
以下の図の POWER スイッチを押下して、電源オンして下さい。
正しく電源オンされると、ランプが緑色に点灯します。



3.5 Windows PC の準備

Windows PC を、管理用ネットワークに接続します。

1. Windows PC のネットワーク設定を、管理用ネットワーク上の管理ノード(vCenter Server, 管理用 VM)、クラスタノード(ESXi)に接続できるよう、変更します。
2. Windows PC を管理用ネットワークに接続してください。



《注意》

Windows PC に設定する IP アドレスは、本製品や管理用ネットワークで使われていない値を割り当ててください。重複した IP アドレスを設定した場合、同ネットワークに接続されているシステムの動作に影響を与えることがあります。

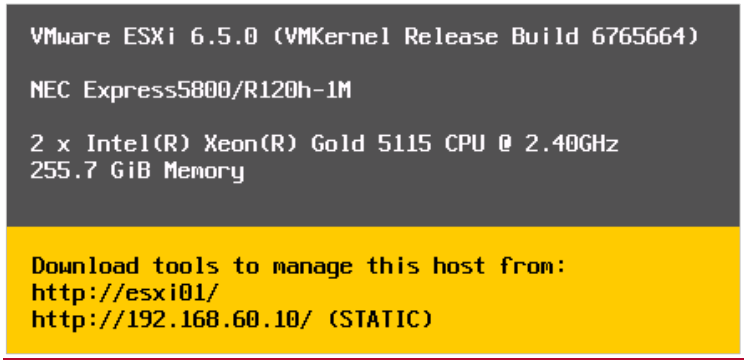
3.6 DNS 疎通確認

Windows PC から、管理ノード上で動作している管理用 VM にログインし、DNS 疎通確認を実施します。

1. 管理ノード上の VMware ESXi が起動完了したことを確認します。

《参考》

管理ノードにディスプレイを接続している場合、ローカルコンソールで下記のような画面が表示されれば、VMware ESXi が起動しています。



管理ノードにディスプレイを接続していない場合、十分な時間を待ってください。2 のリモートデスクトップ接続ができない場合は、管理ノードにディスプレイを接続し、ローカルコンソールが上記図のような画面となっているかどうかを必ず確認してください。

2. Windows PC でリモートデスクトップ接続(mstsc)を起動し、SG 仕様書に記載されている「管理用 VM」の IP アドレスを入力し、管理用 VM に接続してください。

- IP アドレス: ヒアリングシートの管理用 VM の「管理ネットワーク接続用の IP アドレス」

アカウント認証では下記のアカウント情報を入力してください。

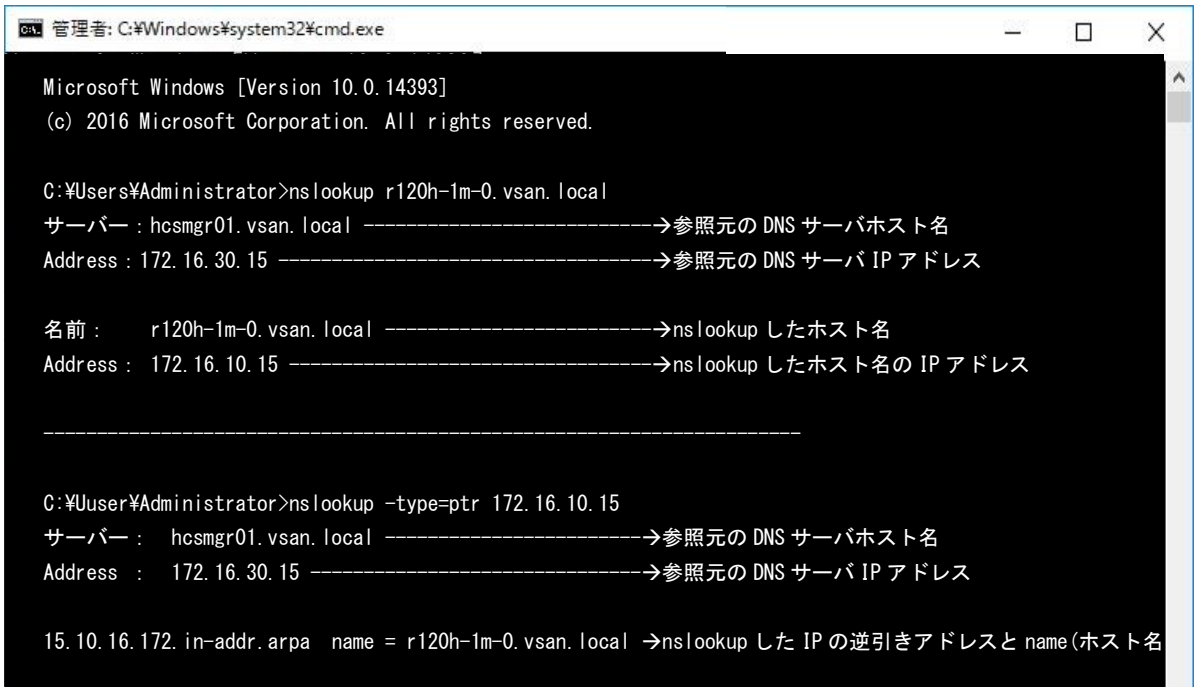
- アカウント名: administrator
- パスワード: ヒアリングシートの管理用 VM の「Administrator ユーザのパスワード」

3. 管理用 VM 上で、コマンドプロンプト(cmd)を起動します。

4. 管理用 VM のコマンドプロンプト上で以下のコマンドを実行し、管理用 VM から SG 仕様書に記載されているホスト名、IP アドレスが正引き、逆引き可能であることを確認してください。

- 正引き確認:nslookup [SG 仕様書に記載された各ノードのホスト名(FQDN)]
- 逆引き確認:nslookup -type=ptr [SG 仕様書に記載された各ノードの IP アドレス]

	ホスト名	IP アドレス
例) クラスタノード 1	r120h-1m-0.vsan.local	172.16.10.15
例) DNS サーバ	hcsmgr01.vsan.local	172.16.30.15
クラスタノード 1		
クラスタノード 2 ・・		
管理ノード		
vCSA		
管理用 VM		



5. 正引き、逆引きができることを確認後、管理用 VM からログオフし、リモートデスクトップを終了してください。

《参考》

管理用 VM への接続や、正引き/逆引きができない場合、管理用 VM、vCSA、管理ノードの電源オフし、DNS サーバに SG 仕様書に記載されているホスト名、IP アドレスが登録されていること、ネットワークケーブルが正しく接続されているかを確認し、「3.4 項 管理ノードの電源オン」から確認してください。各電源オフの方法は、NEC Hyper Converged System/運用ガイドをご参照ください。

3.7 VMware vCenter Server への接続、ログイン

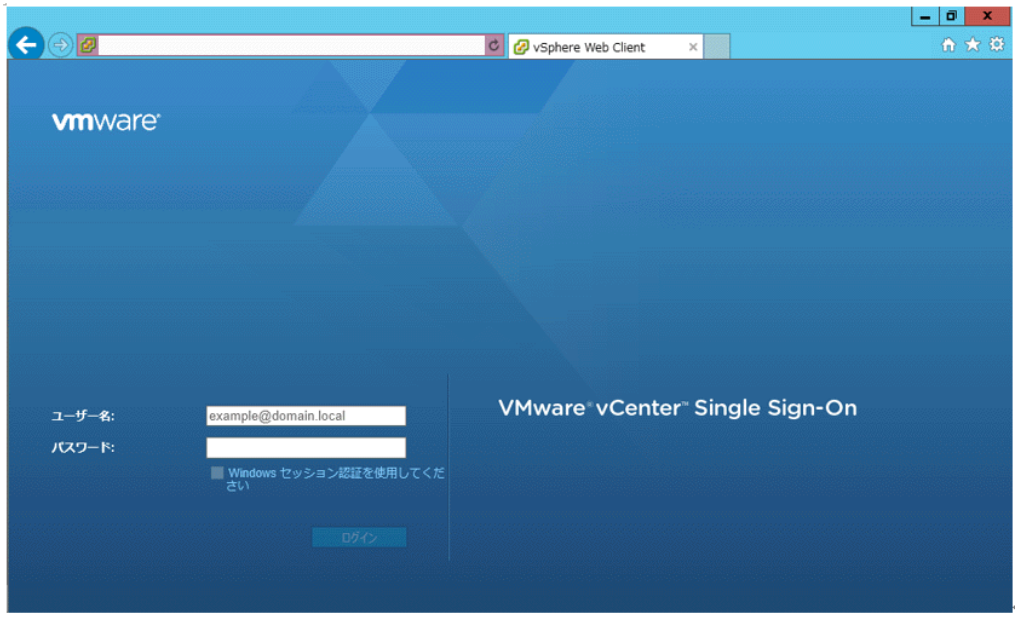
Windows PC で Web ブラウザを起動し、VMware vSphere Web Client (VMware vCenter Server)に接続します。

1. Wiindows PC 上で Web ブラウザ(Internet Explorer)を起動し、VMware vCenter Server に接続します。SG 仕様書に記載される VMware vCenter Server Appliance (vCSA)のホスト名を参照し、下記ルールで URL を作成し、アクセスします。

   URL = “https://”+ vCSA のホスト名+”.”+SSO ドメイン名+”/”+”vsphere-client”
   例）<https://vCenter.vsphere.local/vsphere-client>

2. 下記図のように VMware vCenter Single Sign-On 画面が表示されましたら、ユーザ名、パスワードを入力し、ログインします。

   ユーザ名：“administrator@”＋ SSO ドメイン名
   例）administrator@vsphere.local
   パスワード：ヒアリングシート・SG 仕様書で指定したパスワード



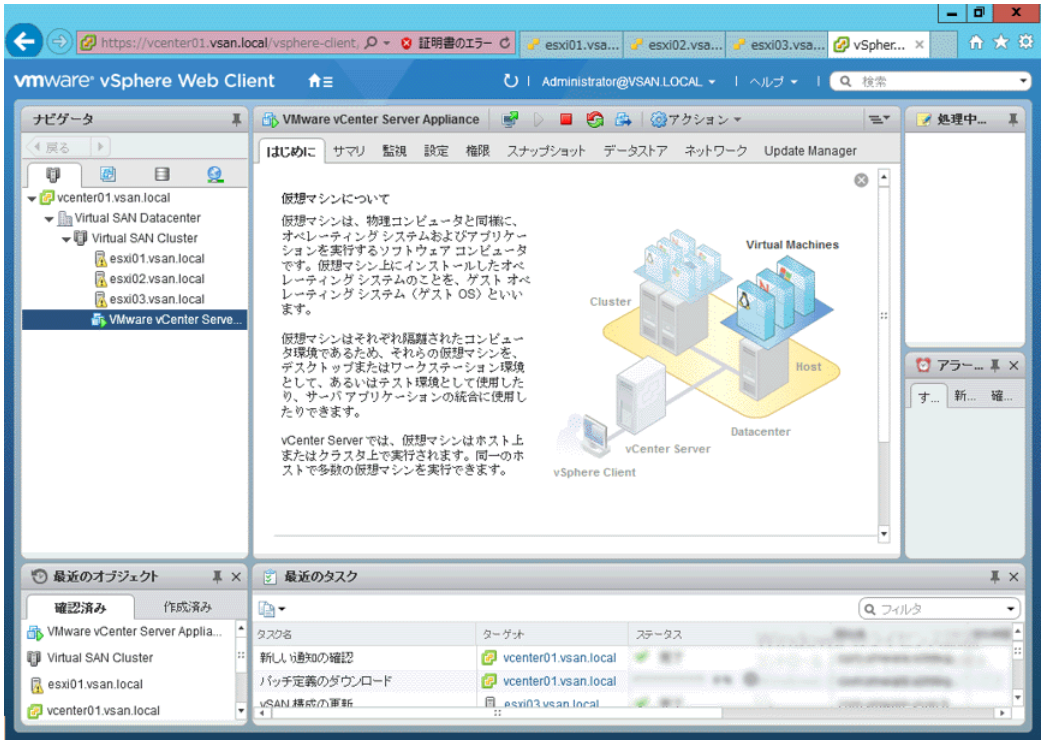
重要

Windows 端末から、VMware vCenter Server に接続できない時は、まず以下を確認して下さい。

1.	VMware vCenter Serverに接続する情報に誤りがありませんか？ （ヒアリングシートの「vCSAのホスト名(FQDN)」を再度確認ください）
2.	Windows PC上のWebブラウザからVMware vCenter Serverに接続できますか？ (pingコマンド等を使用しネットワーク接続できるかどうかを確認してください)
3.	VMware vCenter Serverは起動していますか？ (管理ノードのVMware Host Clientに接続し、vCSA VMが起動していることを確認してください。 詳細はNEC Hyper Converged System/運用ガイドをご参照ください)

解決しない場合は、1.2 項の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

3. 正常にログインが完了すると、VMware vSphere Web Client が表示されます。下記図のようなメイン画面が表示されることを確認します。以降の手順も VMware vSphere Web Client を操作するため、Web ブラウザは起動したまま閉じないでください。



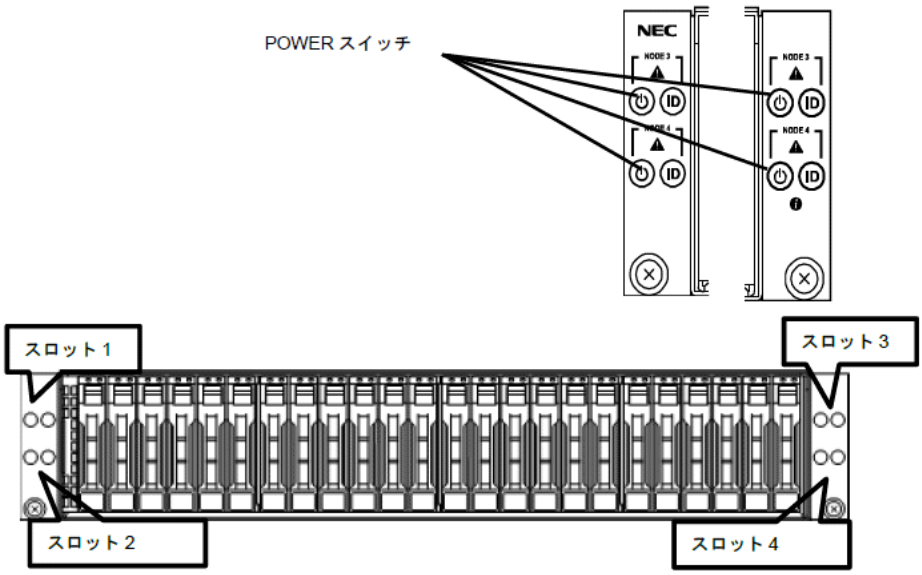
3.8 クラスタノードの電源オン

NEC Hyper Converged System (Express サーバ)の全てのクラスタノードの電源オンにします。クラスタノードの電源オンの順序の指定はありません。

電源オンの方法は、以下を参照ください。

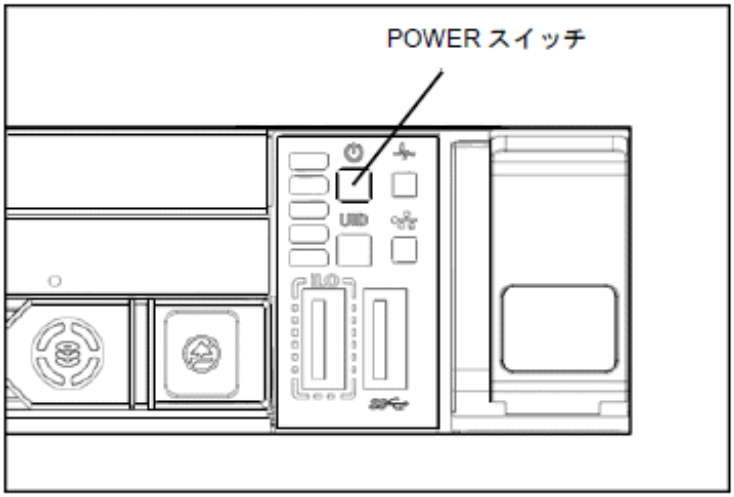
D120h の電源オン:

以下の図の POWER スイッチを、順次、押下して、電源オンして下さい。
正しく電源オンされると、ランプが緑色に点灯します。



R120h-1M の電源オン:

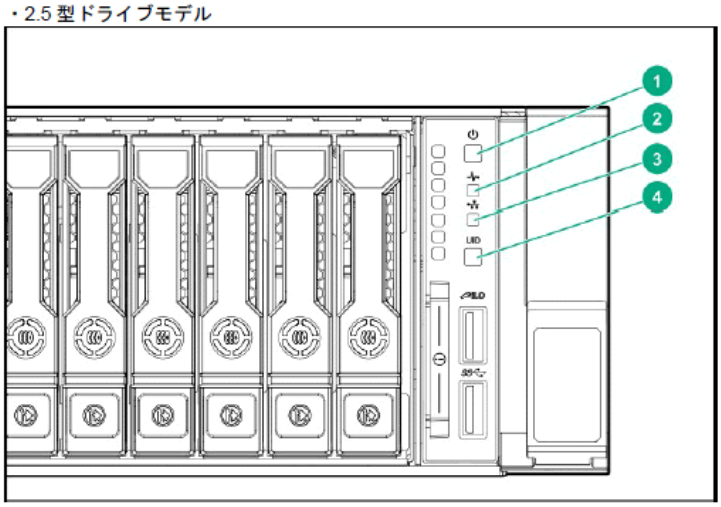
以下の図の POWER スイッチを、各ノード分、順次、押下して、電源オンして下さい。
正しく電源オンされると、ランプが緑色に点灯します。



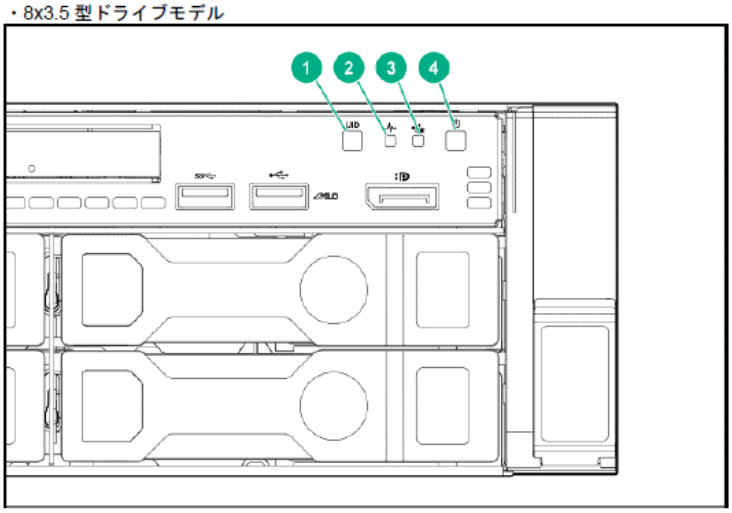
R120h-2M の電源オン:

各モデルの以下の図の POWER スイッチ(2.5 型ドライブモデルは①、8x3.5 ドライブモデルは④、12x3.5 ドライブモデルは②)を、各ノード分、順次、押下して、電源オンして下さい。
正しく電源オンされると、ランプが緑色に点灯します。

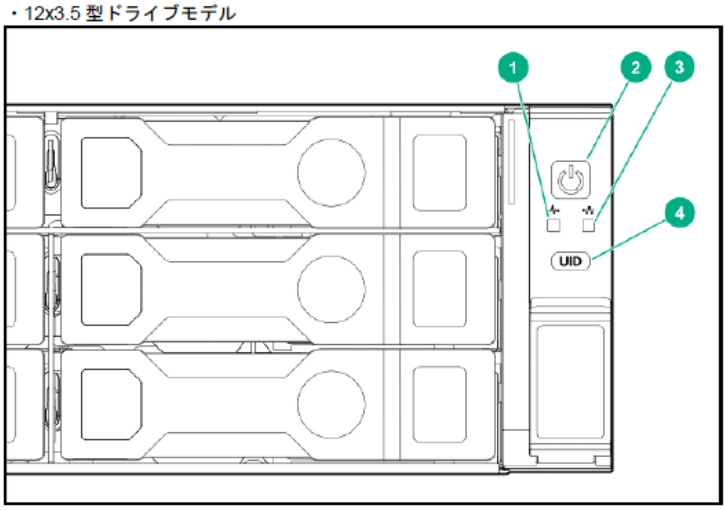
・2.5 型ドライブモデル



・8x3.5 型ドライブモデル



・12x3.5 型ドライブモデル



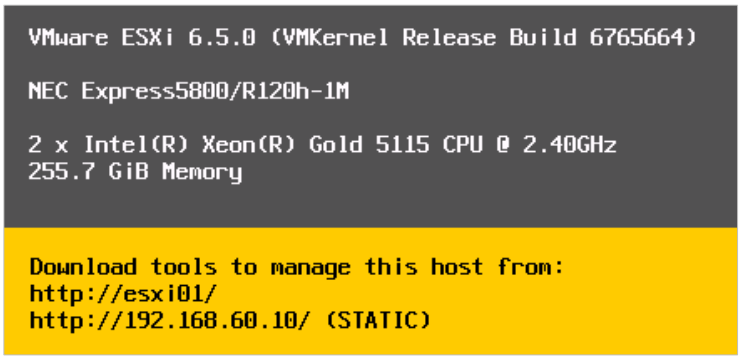
3.9 VMware vCenter Server 上での機器確認

VMware vSphere Web Client のステータスを更新し、vSAN クラスタ、クラスタノード・管理ノードが正しく表示されていることを確認します。

1. 各クラスタノード上の VMware ESXi が起動したことを確認します。

《参考》

各クラスタノードにディスプレイを接続している場合、ローカルコンソールで下記のような画面が表示されれば、VMware ESXi が起動しています。



管理ノードにディスプレイを接続していない場合、十分な時間を待ってください。2 のリモートデスクトップ接続ができない場合は、管理ノードにディスプレイを接続し、ローカルコンソールが上記図のような画面となっているかどうかを必ず確認してください。

2. Windows PC の VMware vSphere Web Client のメイン画面のリフレッシュボタン(下記図オレンジ枠)を押し、ステータスを更新してください。その後ナビゲータ(下記図赤枠)に vSAN クラスタ、クラスタノード、管理ノードが表示され、各ノードがメンテナンスモードとなっていることを確認してください。

以降の作業も VMware vSphere Web Client を使用するため、閉じずにそのままにしてください。

構築した機器が表示されない場合や、表示されている機器に異常がある場合は、3.2 項以降の手順を再度見直してください。解決しない場合は、1.2 節の問い合わせ窓口までご連絡ください。

3.10 隔離 IP の到達確認

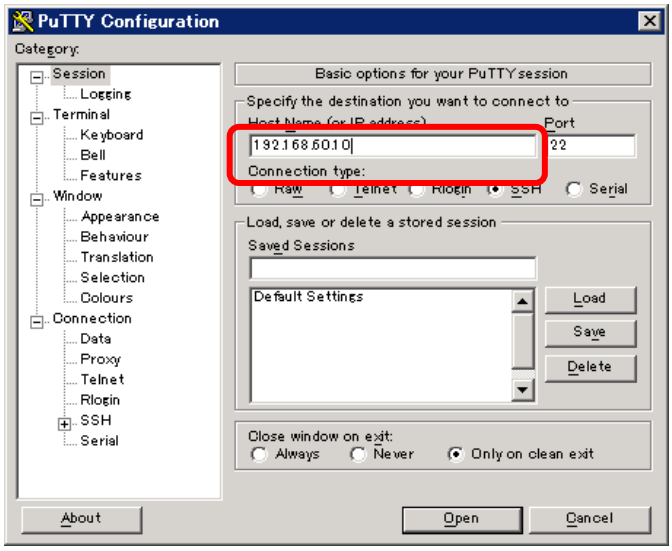
クラスタノードから、vSAN ネットワークスイッチに設定されている隔離 IP へ到達できることを ping により確認します。クラスタノード全台に対して下記手順を実施します。(管理ノードの確認は不要)

《参考》

以降の操作は①Windows PC から SSH で ESXi Shell にログイン　②クラスタノードにキーボード・マウスを接続し、ローカルコンソール(ダイレクトコンソール)で ESXi Shell にログイン　の 2 方法どちらでも実施することができます。本書では①の方法で確認を行います。

1. Windows PC 上で SSH クライアント(例: PuTTY)を起動します。

   Host Name にヒアリングシートのクラスタノード 1 の「管理ネットワーク IP アドレス」を入力し、Open をクリックします。(下記図では 192.168.60.10)

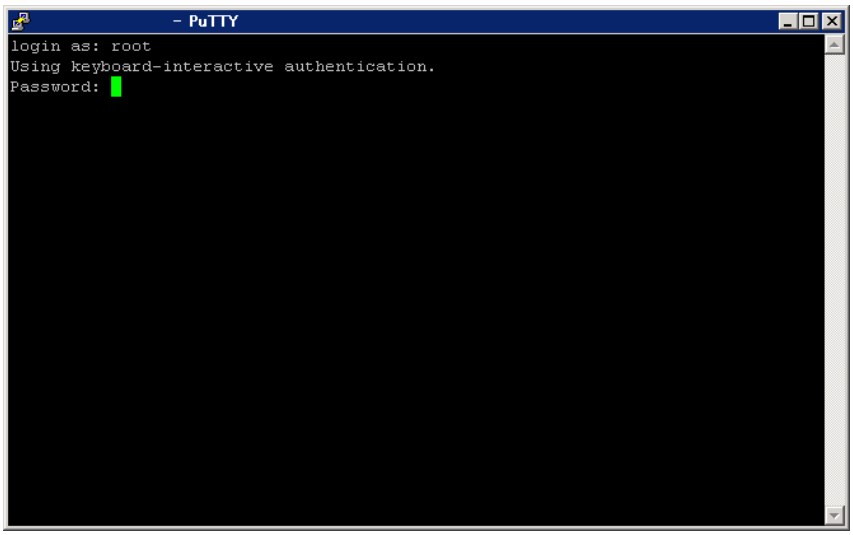


   SSH でクラスタノード 1 への接続が成功すると、PuTTY の画面が下記のように変化します。

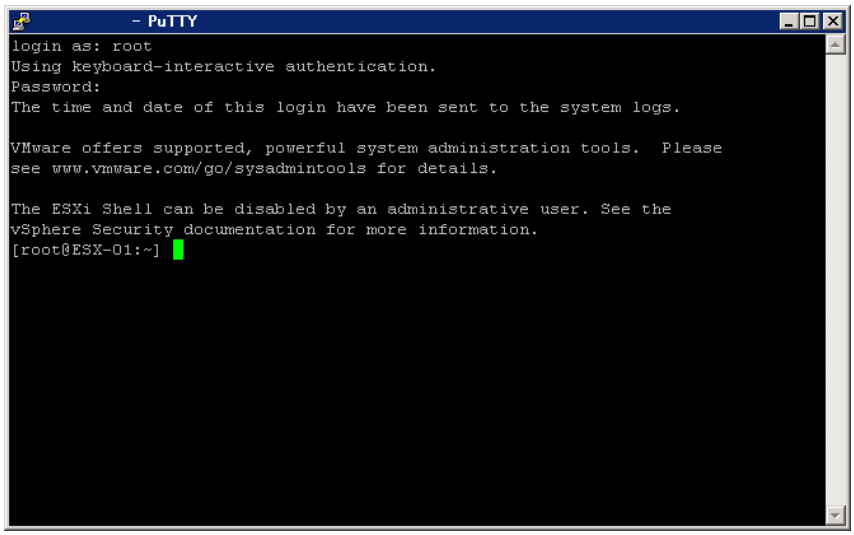
2. ユーザ名 root でログインします。

「login as: 」と表示された画面にキーボードで「root」と入力し「Enter」キーを押下します。
続いて「Password: 」と表示された画面にキーボードで下記パスワードを入力し「Enter」キーを押下します。(パスワードは画面に表示されません)

- パスワード: ヒアリングシートに記載のクラスタノード 1 の「システム管理者(root)のパスワード」



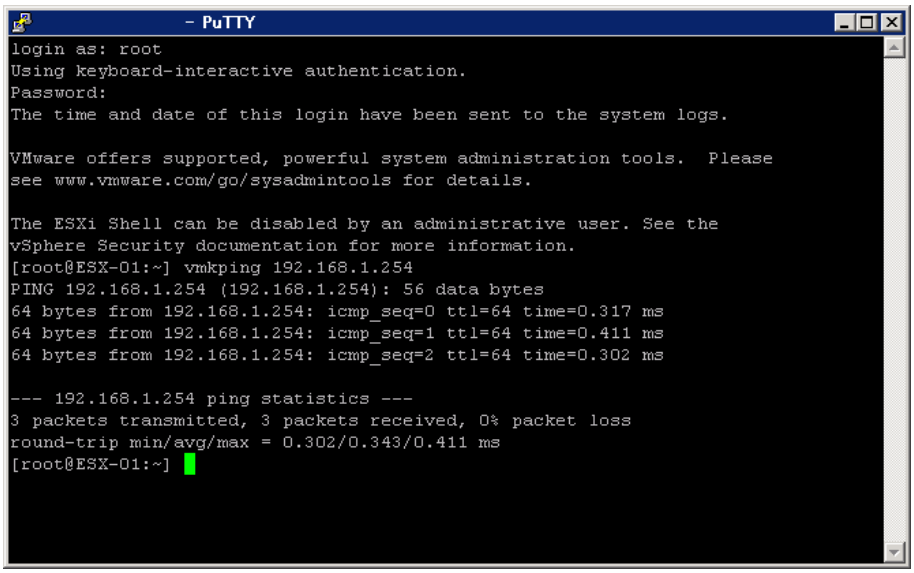
正常にログインが完了すると、下記のように表示されます。



3. ping コマンドを使用し、隔離 IP に ping を行います。

   ヒアリングシートに記載されている 10G スイッチの「10G スイッチの vSAN ネットワーク IP アドレス」または SG 仕様書に記載されている「das.isolationaddress0」(隔離 IP アドレス)を確認し、SSH クライアントに「ping <隔離 IP アドレス>」を入力し「Enter」キーを押下します。(例: ping 192.168.60.10)

   ping コマンドが実行されると、下記図のように画面が変化し、
   「3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss」と表示され、隔離 IP と通信(到達)できていることを確認します。



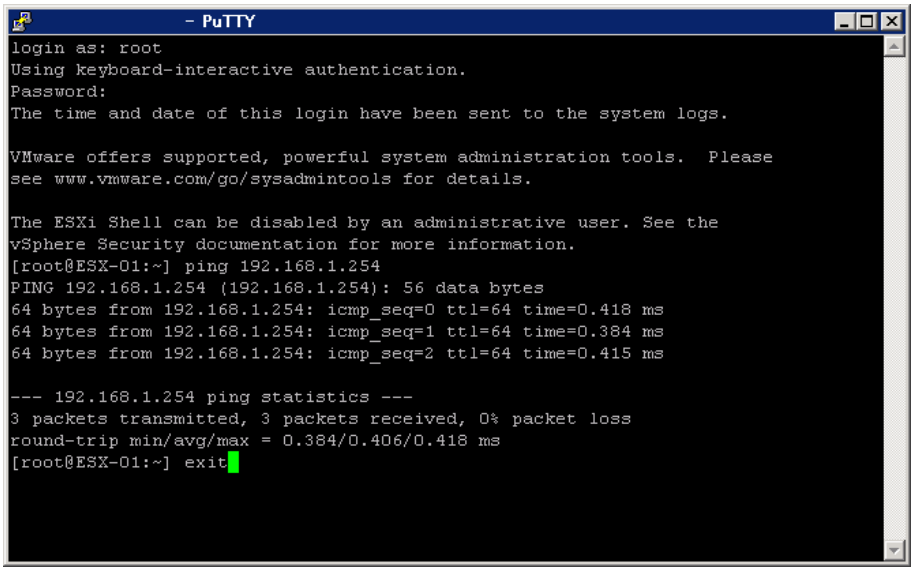
   正しく隔離 IP に到達できていない場合は、
   「3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss」と表示されます。その場合は、ネットワーク接続や 10G スイッチの設定等を確認した上で、再度 ping コマンドを実行し隔離 IP に到達できることを確認してください。

   《参考》

   ping コマンドを入力した際に、「not found」とエラーが表示される場合は、ping コマンドの代わりに vmkping コマンドを使用してください。使用方法は ping コマンドと同様です。
   (例:「ping 192.168.60.10」→「vmkping 192.168.60.10」)

4. 隔離 IP 到達確認後、ESXi Shell を終了します。

   PuTTY に「exit」と入力し「Enter」キーを押下します。押下後 PuTTY の画面が閉じることを確認します。

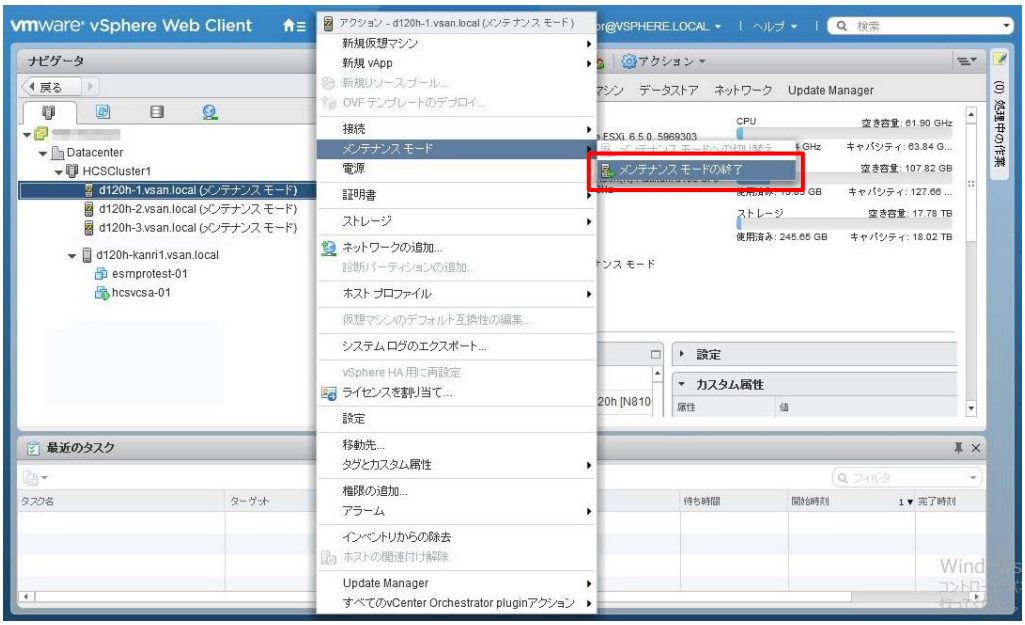


5. 本節 1～4 の手順を他のクラスタノード台数分繰り返します。全てのクラスタノードから隔離 IP に到達できることを確認します。

3.11 クラスタノードのメンテナンスモード解除

NEC Hyper Converged System の全てのクラスタノードは、出荷時メンテナンスモードに設定されております。
VMware vCenter Server より、メンテナンスモードを終了させます。

1. Windows PC の VMware vSphere Web Client のメイン画面でクラスタノードを指定し、右クリック→「メンテナンスモード」→「メンテナンスモードの終了」を選択してください。この操作を全てのクラスタノードに対して実施してください。

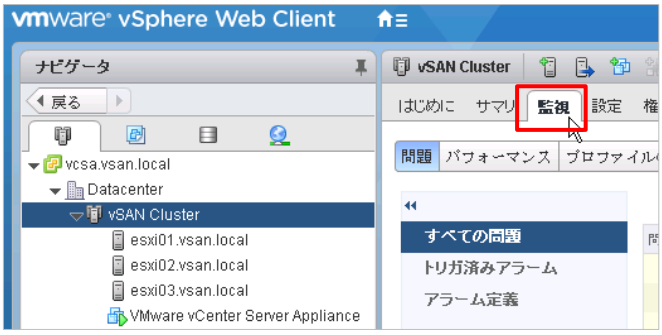


3.12 VMware vSAN 状態の確認(健全性確認)

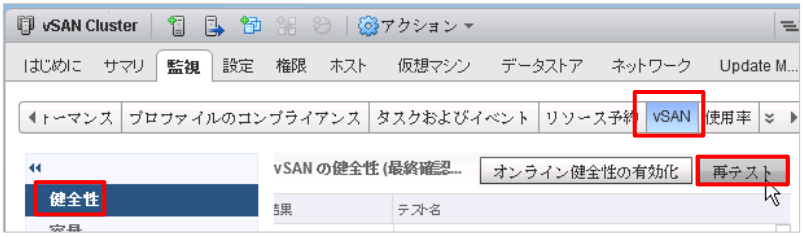
VMware vSAN クラスタの状態を確認します。健全性確認の結果にエラーがでていないことを確認します。

1. Windows PC の VMware vSphere Web Client のメイン画面を表示している状態でオブジェクトナビゲータの[ホストおよびクラスタ]をクリックします。

2. オブジェクトナビゲータで vSAN クラスタ名をクリックし、画面中央上部の[監視]タブをクリックします。



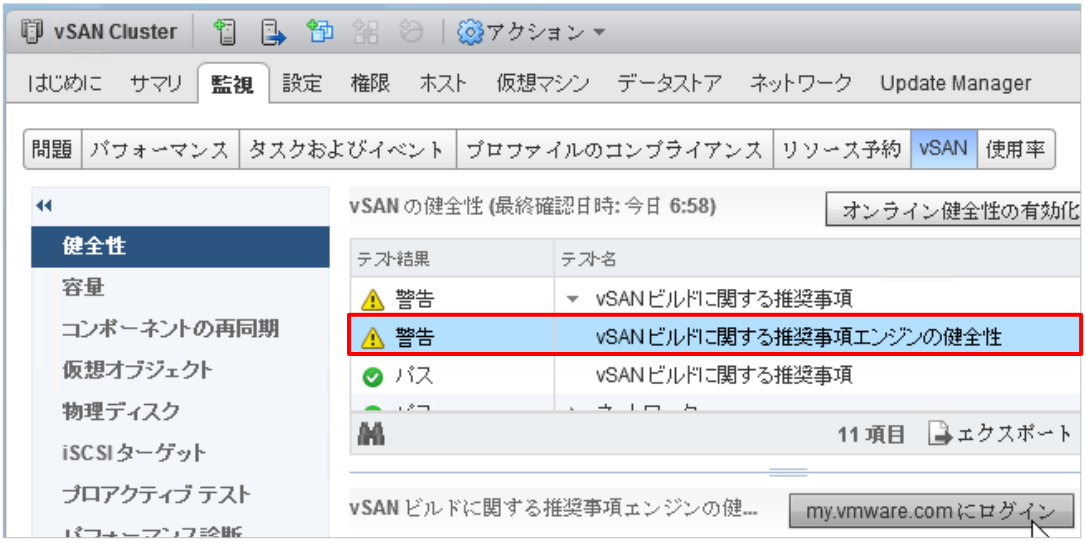
3. [監視]タブの下の[vSAN]をクリックし、さらにその下の、タブ画面内左のメニューで[健全性]をクリックした後、タブ画面右の、一覧の上に表示されている[再テスト]をクリックします。



4. vSAN 環境の健全性確認の結果が画面右の一覧に表示されますので、「テスト結果」欄が全てパスであることを確認します。

※vCenter Server Appliance がインターネット接続していない場合、「vSAN ビルドに関する推奨事項エンジンの健全性」の警告が表示されますが、問題ありません。

本警告は、vCenter Server Appliance がインターネット接続できないことが原因となっています。本警告を解消する場合は、vCenter Server Appliance からインターネットに接続できることを確認した後、[監視]タブ画面右下の[my.vmware.com にログイン]をクリックしてください。なお、インターネットへの接続を行わない状態で vSAN クラスタを稼働させる場合、本警告は無視して問題ありません。



以上で VMware vSAN、ESXi の確認は完了です。メイン画面に戻り、VMware vSphere Web Client からログアウトしてください。

3.13 VMware ライセンス登録、サポートパック登録

VMware ESXi, vCenter Server, vSAN インストール後、40 日以内に VMware ライセンスを vCenter Server に登録してください。

VMware ライセンスの取得方法ならびに登録方法は下記をご参照ください。

https://jpn.nec.com/soft/vmware/vs6/install.html

ハードウェア・ソフトウェア保守としてパック型保守製品(ExpressSupportPack, PPSupportPack)をご購入いただいた場合は、保守サービスをお受けいただくために登録作業が必要となります。登録作業は、お買い求めいただいたパック型保守製品に同封されている登録手順書をご参照ください。なお、契約型のハードウェア・ソフトウェア保守をご締結いただいた場合は、登録作業は不要となります。

3.14 NEC Hyper Converged System Console の動作確認

NEC Hyper Converged System のステータス監視および日常運用で使用する操作を快適に実施できる、「NEC Hyper Converged System Console」を標準添付しております。

NEC Hyper Converged System Console が正しく動作していることを確認します。

3.14.1 NEC Hyper Converged System Console へのログイン

Windows PC から管理用 VM にリモートデスクトップ接続にてログインし、NEC Hyper Converged System Console にログインします。

1. Windows PC でリモートデスクトップ接続(mstsc)を起動し、SG 仕様書に記載されている「管理用 VM」の IP アドレスを入力し、管理用 VM にログインします。(IP アドレス例: 192.168.100.10:3389)

- IP アドレス: ヒアリングシートの管理用 VM の「管理ネットワーク接続用の IP アドレス」
- アカウント名: administrator
- パスワード: ヒアリングシートの管理用 VM の「Administrator ユーザのパスワード」

2. 管理用 VM 上で Web ブラウザ(Internet Explorer)を起動します。

3. Web ブラウザのアドレス欄に以下の URL を入力します。

- http://ホスト名/nechcs/
  ホスト名には、管理用 VM のホスト名(FQDN 名)、または IP アドレスを入力してください。

4. 正しく NEC Hyper Converged System Console に接続できると、Web ブラウザに NEC Hyper Converged System Console のログインウィンドウが表示されます。

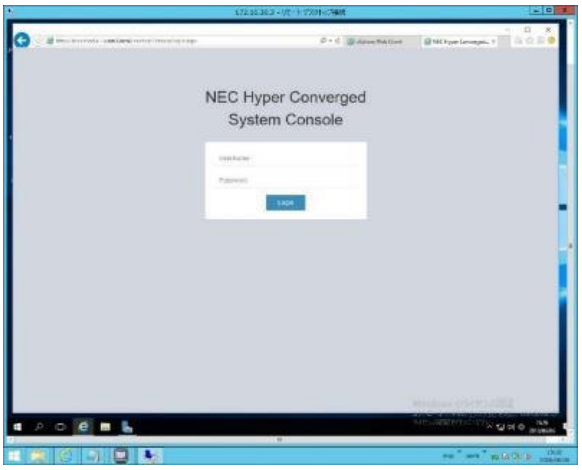
5. 以下の初期ユーザ名、およびパスワードを入力し、ログインしてください。
   - ユーザ名: ヒアリングシートの HCS_Console の「HCS_Console: 管理ユーザ名」
   - パスワード: HCS_Console の「HCS_Console: 管理ユーザのパスワード」

【重要】

ユーザ登録は、「NEC Hyper Converged System Console v1.0 ユーザーズガイド」を参照の上、行うようにしてください。

ユーザが登録されると、初期ユーザ名とパスワードは使用できなくなります。

NEC Hyper Converged System Console は http 通信のみ有効化しています。https 通信を有効化する場合は、本書手順の完了後「NEC Hyper Converged System Console v1.0 ユーザーズガイド」を参照のうえ有効化手順を実施してください。



注意事項

- NEC Hyper Converged System が使用するポート番号を SG 仕様書で既定値(80) から変更している場合は、ホスト名には、「ホスト名(FQDN):ポート番号」を入力してください。
- サービス "PVMService" が起動していない状態で、NEC Hyper Converged System Console を起動しようとするとエラーとなります。「SystemProvisioning を起動/ 再起動/ 停止するには」を参照し、手動でサービスを起動してください。

3.14.2 NEC Hyper Converged System Console の動作確認

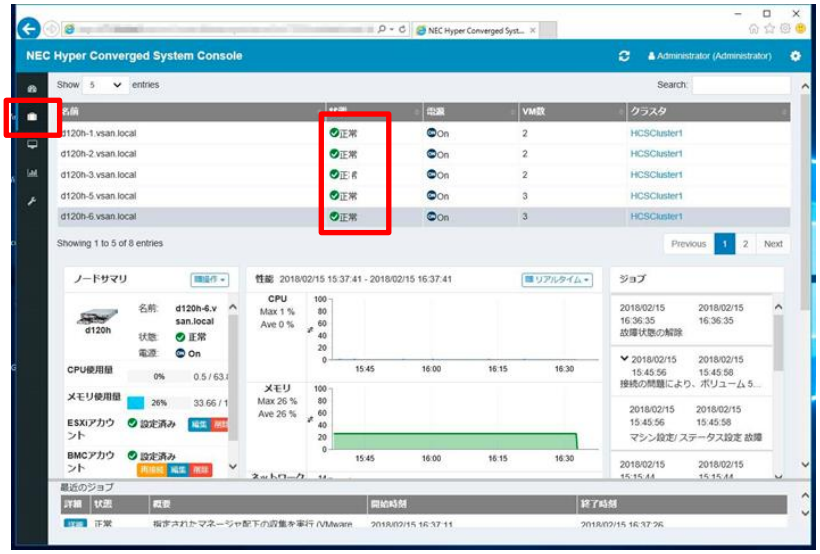
NEC Hyper Converged System Console のログインに成功すると、ポータル画面が表示されます。
下記手順にて正しく動作していることを確認します。

・[ダッシュボード]タブ

登録したノードが全て、ノードサマリに表示されたノードの台数をご確認ください。

お客様の手元に届いてからしばらくは、CPU 使用率/メモリ使用率など一部の情報が表示されないことがあります。ある程度の時間(目安: 半日)運用し、性能データが蓄積された後に表示されますが、数日経っても表示されない場合は、1.2 節の問い合わせ窓口までご連絡ください。

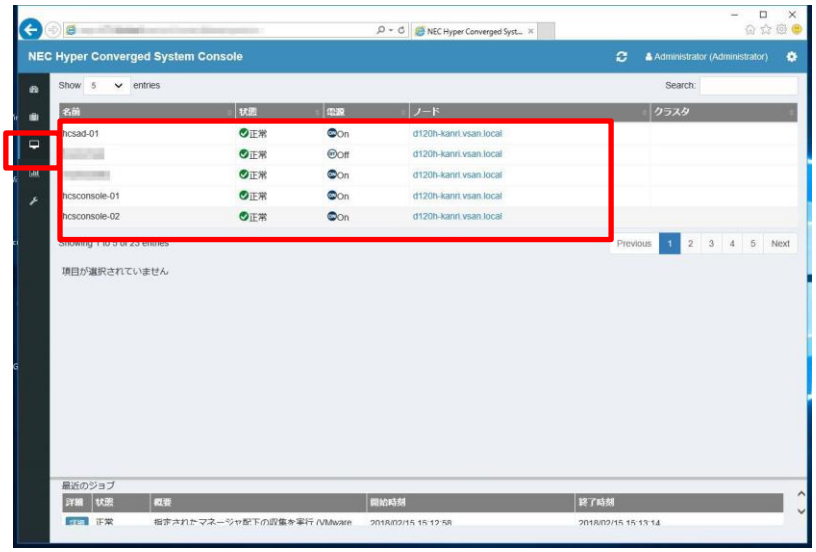
・[node]タブ



登録したノードと状態がリスト形式で表示されます。
詳細を確認したいノードをクリックすると、各ノードの詳細情報が表示されます。

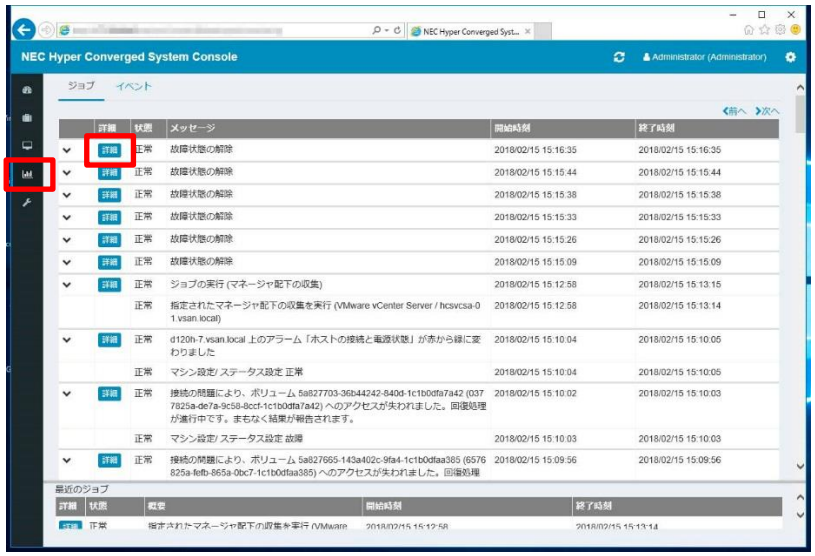
お客様の手元に届いてからしばらくは、CPU 使用率/メモリ使用率など一部の情報が表示されないことがあります。ある程度の時間(目安: 半日)運用し、性能データが蓄積された後に表示されますが、数日経っても表示されない場合は、1.2 節の問い合わせ窓口までご連絡ください。

・[仮想マシン]タブ



作成した仮想マシン(VM)の一覧と状態がリスト形式で表示されます。
詳細を確認したい VM をクリックすると、VM の詳細情報が表示されます。
NEC Hyper Converged System 上に VM を作成していない状態では、VM は表示されません。

・[監視]タブ



NEC Hyper Converged System Console のジョブ・イベント情報が、リスト形式で表示されます
各ジョブの[詳細]をクリックすると詳細情報が表示されます。

全てのタブの設定項目および状態が正しく確認できましたら全ての動作確認は終了です。
NEC Hyper Converged System を利用開始できる状態となりました。

3.14.3 NEC Hyper Converged System Console の利用

NEC Hyper Converged System Console の利用方法は、「NEC Hyper Converged System Console v1.0 ユーザーズガイド」をご参照してください。

商標について

EXPRESSBUILDER と ESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です

Microsoft Windows, Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国 およびその他の国における登録商標または商標です。

VMware、VMware vSphere、VMware ESXi、および VMware ロゴは、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

NEC Corporation 2017-2018

NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

文書番号:NHS-E-006-040

MEMO